

いな穂のように、実り豊かに暮らせるまちづくり

北地区地域づくりビジョン

令和7年度(2025)～令和8年度(2026)



令和7年(2025)4月1日
北地区地域づくり協議会

もくじ



1. ビジョン策定の目的と経過	2
2. 地区の概要（地域カルテ）	3
3. 地区の位置図	4
4. 地区の人口構成	5
5. 第1次ビジョンの振り返りと総括	7
6. 第2次ビジョンの趣旨	9
7.8. “ 期間、組織体制	11
9. 地域づくりのテーマ・基本目標	12
（参考）ハザードマップ	13

1. ビジョン策定の目的と経過

北地区は、会津若松市の町北町と高野町を合わせた地域です。

旧高野村・町北村は昭和30年（1955）に会津若松市に編入されました。

また、この地区では毎年「永和地区各種情報交換会」を開催し、永和地区の各種地域団体の交流や情報交換を実施してきましたが、令和元年（2019）5月に開催した情報交換会において、参加団体から加入者数の減少や地域住民のつながりの希薄化、後継者不足等の共通課題が提示されたことを契機に各種団体が協力して地域課題を解決していくために新たな組織を設立する運びとなり、令和元年9月30日に永和地区地域づくり協議会が設立されました。

また、令和7年（2025）4月24日の定例総会において、地域内の特性と今後の協議会の広がりを見据える観点から名称を、「永和地区地域づくり協議会」から「北地区地域づくり協議会」へ変更。さらに、令和4年度（2022）に策定された第1次ビジョンが令和6年度（2024）で終了となることから、振り返りと総括を踏まえ第2次ビジョンを策定しました。

・協議会の目的（北地区地域づくり協議会規約第1条）

（目的）

第1条 この規約は、会津若松市町北地区及び高野地区（以下「北地区」という。）において地域の身近な課題を話し合い住民相互の協力のもと解決するための取組みを実践し、もって連携・協働による地域づくりを推進することを目的とする。

※以上のように、地域づくりビジョンは目的を達成するために、地域の特性を知り・取組の方向性や実践方法を定め・地域全体で共有して、取組を効果的に進めていくことを目的としています。

・ビジョン策定のための会議など

令和元年（2019）9月30日	永和地区地域づくり協議会設立
令和3年（2021）10月21日	第1回永和地区まちづくりワークショップ
令和3年（2021）11月18日	第2回永和地区まちづくりワークショップ
令和3年（2021）11月18日	第3回永和地区まちづくりワークショップ
令和4年（2022）1月20日	永和地区まちづくりワークショップ中間報告
令和4年（2022）6月17日	第4回永和地区まちづくりワークショップ
令和4年（2022）7月21日	第5回永和地区まちづくりワークショップ
令和4年（2022）9月15日	令和4年度永和地区地域づくり協議会総会
令和7年（2025）2月27日	第2次ビジョンへ向けた振り返りワークショップ
令和7年（2025）3月27日	第2次ビジョン策定のためのワークショップ
令和7年（2025）5月29日	第2次ビジョンのための臨時総会開催 (4月1日から遡及適用)

2. 地区の概要（地域カルテ）

（1）地区の地理

- ・東経 139 度 90 分（北公民館付近）
- ・北緯 37 度 52 分（ " ）
- ・標高 194.9 ㍎（ " ）

（2）主な河川

- ・湊川、大工川、第二沼川、旧湯川など

（3）地理の概要

北地区は福島県会津若松市の北西部、高野町と町北町からなる地域です。地区内を国道 49 号線が東西に、国道 121 号線が南北に通っており、会津縦貫北道路会津若松インターチェンジ・磐越道会津若松インターチェンジがあり、市内の交通の要衝地です。北部には田園風景が広がっています。

（4）地区ごとの概要

【高野（こうや）】

高野町には、高い野原や丘はありません。全国的に平安時代（1200 年前ごろ）に開発された場所を「こうや」と呼んだそうです。その代表が和歌山県の高野山で「高野」とは当て字で、高野町は平安時代はじめに開発された地域を意味するといわれます。

【町北（まちきた）】

明治 22 年（1889）4 月 1 日、栄和村が誕生しましたが、地区内での対立が続き、明治 26 年（1893）には分裂を余儀なくされました。町北は若松町の北側に位置することから町北村と名づけられました。

（5）主な道路とインターチェンジ

- ・磐越自動車道会津若松インターチェンジ・会津縦貫北道路会津若松北インターチェンジ
- ・国道 49 号、121 号・県道 69 号会津若松線、326 号浜崎高野会津若松線

（6）主な公共施設

- ・福島県会津家畜保健衛生所・会津若松市北公民館市民センター

（7）学校など

- ・会津若松市立永和小学校
- ・会津若松医師会会津准看護高等専修学校
- ・学校法人堀内学園 リトルスターこども園
- ・認定こども園こぼとらんど

（8）物流団地

- ・会津アピオ

4. 地区の人口構成

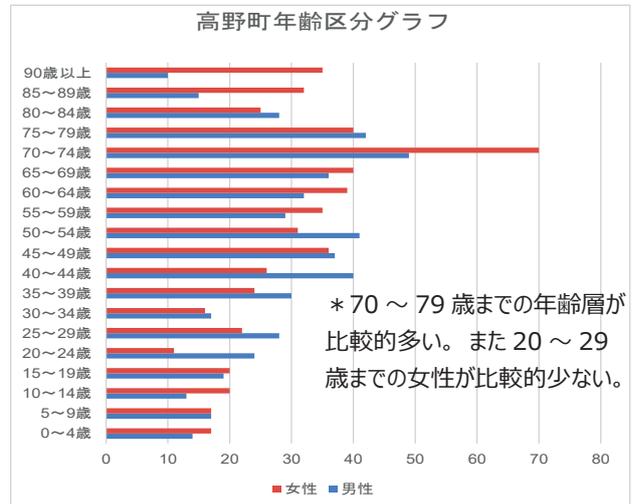
* 2020年と比較して高野町で86名、町北町で101名の人口減となっています。

No.	高野町大字名	小字名	2020年4月1日現在				2024年4月1日現在				比較増減			
			男	女	合計	世帯数	男	女	合計	世帯数	人口	比率	世帯数	比率
1	高野町大字上高野	字畑田	3	3	6	2	5	4	9	4	3	150%	2	200%
2	高野町大字上高野	字村内	79	79	158	57	72	72	144	57	▲14	91%	0	100%
3	高野町大字上高野	字村前	30	36	66	29	35	32	67	30	1	102%	1	103%
4	高野町大字木流	字木流	22	18	40	15	22	20	42	16	2	105%	1	107%
5	高野町大字木流	字橋本	14	11	25	10	8	9	17	8	▲8	68%	▲2	80%
6	高野町橋本木流		41	38	79	28	35	39	74	29	▲5	94%	1	104%
7	高野町大字堺沢	字堺沢	77	84	161	47	68	70	138	49	▲23	86%	2	104%
8	高野町大字堺沢	字村西	5	5	10	3	6	6	12	4	2	120%	1	133%
9	高野町大字中沼	字堰前	5	5	10	2	5	4	9	2	▲1	90%	0	100%
10	高野町大字中沼	字中分乙			0				0			0		0
11	高野町大字中沼	字沼木	49	46	95	31	46	42	88	32	▲7	93%	1	103%
12	高野町大字中沼	字四百苅乙	3	2	5	3	2	1	3	2	▲2	60%	▲1	67%
13	高野町大字中沼	字鶴沼	30	36	66	22	27	34	61	22	▲5	92%	0	100%
14	高野町大字中沼	字東坂才甲	2	3	5	1	2	3	5	1	0	100%	0	100%
15	高野町中前田		48	55	103	32	48	50	98	33	▲5	95%	1	103%
16	高野町大字柳川	字下高野	44	55	99	31	45	48	93	30	▲6	94%	▲1	97%
17	高野町大字柳川	字吉田	34	51	85	26	28	47	75	23	▲10	88%	▲3	88%
18	高野町大字柳川	字森台	26	32	58	18	23	31	54	17	▲4	93%	▲1	94%
19	高野町平塚		25	24	49	18	24	22	46	19	▲3	94%	1	106%
20	高野町上沼		21	20	41	10	20	20	40	10	▲1	98%	0	100%
21	高野町吉田		0	2	2	1	0	2	2	1	0	100%	0	100%
	高野町合計		558	605	1,163	386	521	556	1,077	389	▲86	93%	3	101%

No.	町北町大字名	小字名	2020年4月1日現在				2024年4月1日現在				比較増減			
			男	女	合計	世帯数	男	女	合計	世帯数	人口	比率	世帯数	比率
1	町北町大字石堂	字赤丘	18	24	42	22	18	19	37	19	▲5	88%	▲3	86%
2	町北町大字上荒久田	字石尻	138	149	287	124	143	151	294	122	7	102%	▲2	98%
3	町北町大字上荒久田	字石尻甲	2	4	6	2	1	2	3	2	▲3	50%	0	100%
4	町北町大字上荒久田	字崖下	69	67	136	52	68	67	135	58	▲1	99%	6	112%
5	町北町大字上荒久田	字田村東甲	1	3	4	1	1	3	4	1	0	100%	0	100%
6	町北町大字上荒久田	字畑村東	93	94	187	92	85	85	170	89	▲17	91%	▲3	97%
7	町北町大字上荒久田	字古屋敷	318	354	672	320	329	341	670	344	▲2	100%	24	108%
8	町北町大字上荒久田	字古屋敷甲	4	2	6	3	3	1	4	1	▲2	67%	▲2	33%
9	町北町大字上荒久田	字宮下	67	74	141	71	67	76	143	74	2	101%	3	104%
10	町北町大字上荒久田	字鈴木	153	176	329	134	169	174	343	141	14	104%	7	105%
11	町北町大字上荒久田	字村北	44	47	91	42	38	49	87	42	▲4	96%	0	100%
12	町北町大字上荒久田	字村北甲	1	2	3	1	1	1	2	1	▲1	67%	0	100%
13	町北町大字中沢	字平沢	67	62	129	42	57	51	108	42	▲21	84%	0	100%
14	町北町大字中沢	字中地	63	71	134	41	62	63	125	44	▲9	93%	3	107%
15	町北町大字始	字北台	36	46	82	40	39	40	79	43	▲3	96%	3	108%
16	町北町大字始	字下荒久田	44	51	95	35	40	47	87	36	▲8	92%	1	103%
17	町北町大字始	字深町	15	23	38	15	14	25	39	15	1	103%	0	100%
18	町北町大字始	字見島	0	1	1	1		1	1	1	0	100%	0	100%
19	町北町大字始	字屋敷	35	40	75	23	36	41	77	24	2	103%	1	104%
20	町北町大字始	字中ノ明	70	73	143	47	66	69	135	52	▲8	94%	5	111%
21	町北町大字藤室	字達磨	16	14	30	6	12	12	24	6	▲6	80%	0	100%
22	町北町大字藤室	字横道	5	5	10	6	4	5	9	5	▲1	90%	▲1	83%
23	町北町大字藤室	字藤室	82	99	181	87	72	81	153	76	▲28	85%	▲11	87%
24	町北町大字藤室	字藤室南	38	39	77	34	34	38	72	35	▲5	94%	1	103%
25	町北町大字藤室	字道下			0				0			0		0
26	町北町谷地		6	4	10	4	8	5	13	5	3	130%	1	125%
27	町北町中沢西		42	38	80	32	39	35	74	34	▲6	93%	2	106%
	町北町合計		1,427	1,562	2,989	1,277	1,406	1,482	2,888	1,312	▲101	97%	35	103%

4. 地区の人口構成 (2)

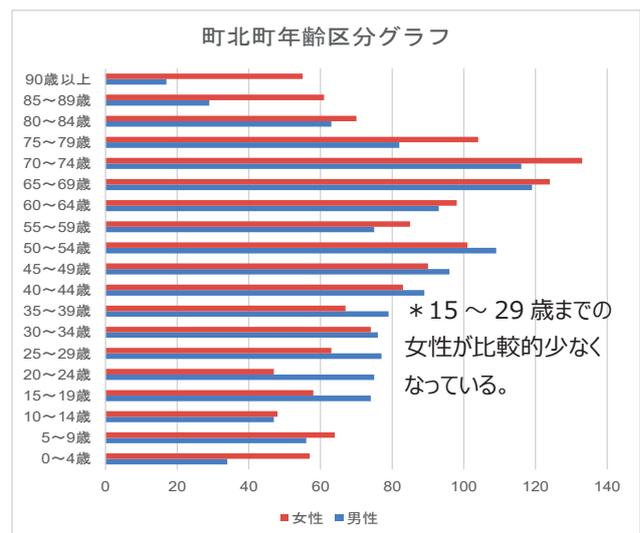
高野町人口				
年齢区分	男性	女性	小計	割合
0～4歳	14	17	31	3%
5～9歳	17	17	34	3%
10～14歳	13	20	33	3%
15～19歳	19	20	39	4%
20～24歳	24	11	35	3%
25～29歳	28	22	50	5%
30～34歳	17	16	33	3%
35～39歳	30	24	54	5%
40～44歳	40	26	66	6%
45～49歳	37	36	73	7%
50～54歳	41	31	72	7%
55～59歳	29	35	64	6%
60～64歳	32	39	71	7%
65～69歳	36	40	76	7%
70～74歳	49	70	119	11%
75～79歳	42	40	82	8%
80～84歳	28	25	53	5%
85～89歳	15	32	47	4%
90歳以上	10	35	45	4%
高野町合計	521	556	1,077	100%



高野町



町北町人口				
年齢区分	男性	女性	小計	割合
0～4歳	34	57	91	3%
5～9歳	56	64	120	4%
10～14歳	47	48	95	3%
15～19歳	74	58	132	5%
20～24歳	75	47	122	4%
25～29歳	77	63	140	5%
30～34歳	76	74	150	5%
35～39歳	79	67	146	5%
40～44歳	89	83	172	6%
45～49歳	96	90	186	6%
50～54歳	109	101	210	7%
55～59歳	75	85	160	6%
60～64歳	93	98	191	7%
65～69歳	119	124	243	8%
70～74歳	116	133	249	9%
75～79歳	82	104	186	6%
80～84歳	63	70	133	5%
85～89歳	29	61	90	3%
90歳以上	17	55	72	2%
町北町合計	1,406	1,482	2,888	100%



町北町



5. 第1次ビジョンの振り返りと総括

令和4年（2022）9月に策定した「永和地区地域づくりビジョン（第1次ビジョン）」に基づき、3つの部会でそれぞれ分野別目標・活動の柱・活動領域・具体的な取組を定めるとともに、部会の枠を超えて協議会全体で取り組む活動を展開してきました。

（1）事業評価について

・第1次ビジョンの活動領域ごとに各部会で行った事業自己評価は以下の通りでした。

平均評価点 3.9（5点満点）/3部会合計平均

（2）各部会ごとの評価まとめ



和づくり部会



平均評価点 3.3



分野別目標



❖ 地域の良さを生かして、安全な『和』のあるまちづくり

▼ 活動の柱 ▼

❖ 人の和を生かした米作りを中心としたブランド化

❖ 和をもって災害に備えるまちづくり

❖ 歴史などの地域資源を生かした和づくり

＜意見など＞

地元米のブランド化などについては、生産者の参加が難しい状況で意向や現状の把握が難しかった。地区案内看板については最終年に大雪のため当該年度での建て込みが困難だった。今後は作成と建て込みをずらすローテーションのほうが良いと思われる。また、地域防災については今後とも継続して部会として取組んでいく。



ふくふく絆部会



平均評価点 4.2



分野別目標



❖ 心の『和』を大切に、健康で『ずっと元気』でいられるまちづくり

❖ 気軽に集まれる場所づくり

❖ 高齢者が便利に移動できる仕組みづくり

▼ 活動の柱 ▼

❖ 多世代とのつながりづくり

❖ 地域を生かした健康づくり

＜意見など＞

アンケート結果からニーズに沿った取組を行うことができた。特に「ゆったり温泉いなほプラン」では参加者の満足度が高かった。「スマホ教室」や「レクリエーション用具の貸出」では参加者が少なかったり、周知が不十分な要因も見られたので今後の改善策としていきたい。

5. 第1次ビジョンの振り返りと総括（2）

いな穂子育て部会



平均評価点 **4.3**

分野別目標

❖ いな穂のように豊かな心を育み学び合えるまちづくり

活動の柱

❖ 永和の魅力を活かした子育て環境づくり

❖ 子どもと地域の方々との交流の場づくり

❖ 子どもの放課後、休日の居場所づくり

<意見など>

夏まつりに関しては、親子連れの参加者も多く、またボランティアの参加や様々な世代との関わりが見られた。学習スペース開放デーについてはテスト時期や部活とのからみなどを勘案し、長期での計画をつくることも必要。ただ、居場所づくりとしての側面もあり総じて良かった。

(3) 部会の枠を超えて取組む事業まとめ

- ❖【自主財源の確保】⇒継続して自主的な事業運営ができるよう、様々な自主財源の確保に取り組めます。
- ❖【事務局体制の強化】⇒地域が主体となり、組織運営の事務を円滑に行う体制作りに取り組めます。

<まとめ>

令和6年（2024）10月に集落支援員を事務局員として配置。協議会事務局の円滑化に努めた。また、令和6年度は大雪に見舞われ事業縮小を余儀なくされたことから当該予算を活用し独自にコピー機を導入。協議会組織等の事務の効率化や地域支援に資することができた。

6. 第2次ビジョンの趣旨

(1) 第2次ビジョン策定の考え方

第1次ビジョンの方向性を基本としながら第1次ビジョンで示された「地域の課題」等に対して「地域資源」を活用しながら「地域に必要な活動や取組（あったらいいな）」を実現させていくことを基本的な考え方として、地区社会福祉協議会の設立や名称の変更も想定し策定しました。

地域の課題

* 地域の人口問題（人口減少、高齢化、若者の減少、少子化など）
（上記に付随する形で下記の地域課題が顕在化してきています）



- ・ 子どもの減少による学校活動や子育て環境の課題
- ・ 地域コミュニティの希薄化、担い手不足
- ・ 地域内の移動の手段
- ・ 空き家の増加
- ・ 埋もれた地域資源
- ・ 産業・農業の問題

北地区の地域資源

- ・ 人と地域のつながり（人情やご近所の付き合い、地域のつながりの良さ）
- ・ 各種団体の団結力
- ・ 元気な高齢者
- ・ 素直な子ども
- ・ 豊かな自然、風景
- ・ 学校と教育（永和小学校の「いなほ祭」）
- ・ 文化や歴史
- ・ 農作物（お米）
- ・ 商業施設（会津アピオ）
- ・ 災害が少ない生活環境

地域に必要な活動や取組（あったらいいな）

【残したい活動】

- ・ 老人クラブ、サロン会
- ・ 町民運動会
- ・ 北地区文化祭
- ・ 地区の消防団
- ・ 夏まつり
- ・ サイノカミ
- ・ いなほ祭のもちつき
- ・ 子どもおはやし会
- ・ いきいき 100 歳体操
- ・ そば会
- ・ ほうきづくり（ほうきもろこし）
- ・ 小学校の見守りたい
- ・ 少子化が進んでも永和小学校を残す

6. ビジョンの趣旨（2）

地域に必要な活動や取組（あったらいいな）

【足りない活動】

- ・ 地域内のあちこちに立ち寄れる場があったらいい（お茶、 図書）
- ・ 世代間交流
- ・ 若者の集まる機会、 場所
- ・ 永和祭（夏）
- ・ 地域の特性を活かした「楽しい」イベント
- ・ 若い人と老人の交流
- ・ 各種団体の交流
- ・ 後継者（リーダー）の育成
- ・ 公民館を利用したくなるイベント
- ・ 子育て世代の地域への関わり
- ・ 子ども、 高齢者が 1 日遊べ過ごせる場所
- ・ 高齢者が仕事ができるようになるセミナー
- ・ 高齢者の仕事場
- ・ 集まるときの足の確保、 車の相乗りか公用の車の利用
- ・ 運転免許証の返納の問題
- ・ 高齢者の居場所づくり

【地域に必要な活動・取組】

- ・ サロン活動と子どもたちとのつながり
- ・ 学校の地域開放について協議（体育館など）
- ・ 公民館に送迎バス
- ・ リーダーになる人がいないので、 引っ張ってほしい。
- ・ 子どもの見守り活動の団体にあいさつ運動の強化。 のぼり旗をつくるのもいいかも。
- ・ 講師、 指導者などの育成
- ・ 地域の組織づくりの見直し
- ・ ニーズ調査（支えられる側、 支える側双方）
- ・ 土地の活用、 市街化調整区域で家が建てられない

(2) ビジョンの位置づけ

この計画は、会津若松市自治基本条例に基づき、北地区におけるまちづくりを行う上での基盤となるものであり、住民と地区が目標を共有し、協働して地域づくりを進めていくための基本方針となるものです。

7. ビジョンの期間

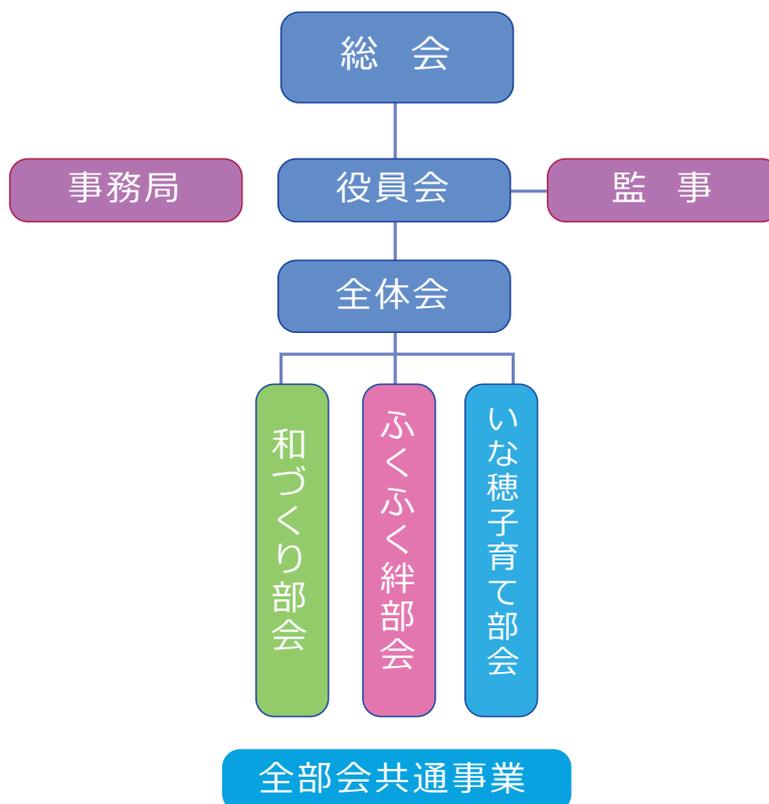
この計画は、令和7年度（2025）から令和8年度（2026）までの計画とします。
令和4年度（2022）から令和6年度（2024）までが第1次ビジョンで、本ビジョンは第2次ビジョンとして2年の期間となります。



8. 組織体制

下記の体制で、分野ごとに地域課題の解決に向けた取組を進めます。

【組織図】



9. 地域づくりのテーマ・基本目標

地域づくりのテーマ

いな穂のように、
みのり豊かに暮らせる
まちづくり

基本目標

地域の宝を磨き、様々な主体との連携・協働により、
様々な年代の住民が、秋のいな穂のように、実り豊かな
生活を送れる魅力的な北地区をつくります。

和づくり部会

分野別目標

活動の柱

活動の内容(例)



- ❖ 地域の良さを生かして、安全な『和』のあるまちづくり
- ❖ 地元の農産物を見直し、地場産品の振興につながる地域づくり
- ❖ 和をもって災害に備えるまちづくり
- ❖ 歴史などの地域資源を生かした和づくり
- ❖ 地元農産物や生産者さんの取組紹介等
- ❖ 史跡案内看板の設置、フォトコンテストの実施等
- ❖ 災害啓発に向けた視察や啓蒙啓発事業等

ふくふく絆部会

分野別目標

活動の柱

活動の内容(例)



- ❖ 心の『和』を大切に、健康で『ずっと元気』でいられるまちづくり
- ❖ 気軽に集まれる場所づくり
- ❖ 高齢者が便利に移動できる仕組みづくり
- ❖ 多世代とのつながりづくり
- ❖ 地域を生かした健康づくり
- ❖ 外出支援事業（バスツアー/買物ツアーなど）
- ❖ スマホ等支援などの教室事業（何でも相談的な）
- ❖ サロン活動支援等の事業（マツス大会など）

いな穂子育て部会

分野別目標

活動の柱

活動の内容(例)



- ❖ いな穂のように豊かな心を育み学び合えるまちづくり
- ❖ 永和の魅力を活かした子育て環境づくり
- ❖ 子どもと地域の方々との交流の場づくり
- ❖ 子どもの放課後、休日の居場所づくり
- ❖ 学習会の実施など（居場所づくり事業）
- ❖ 夏まつりの開催等
- ❖ 宝探しなど、多世代交流イベント事業等

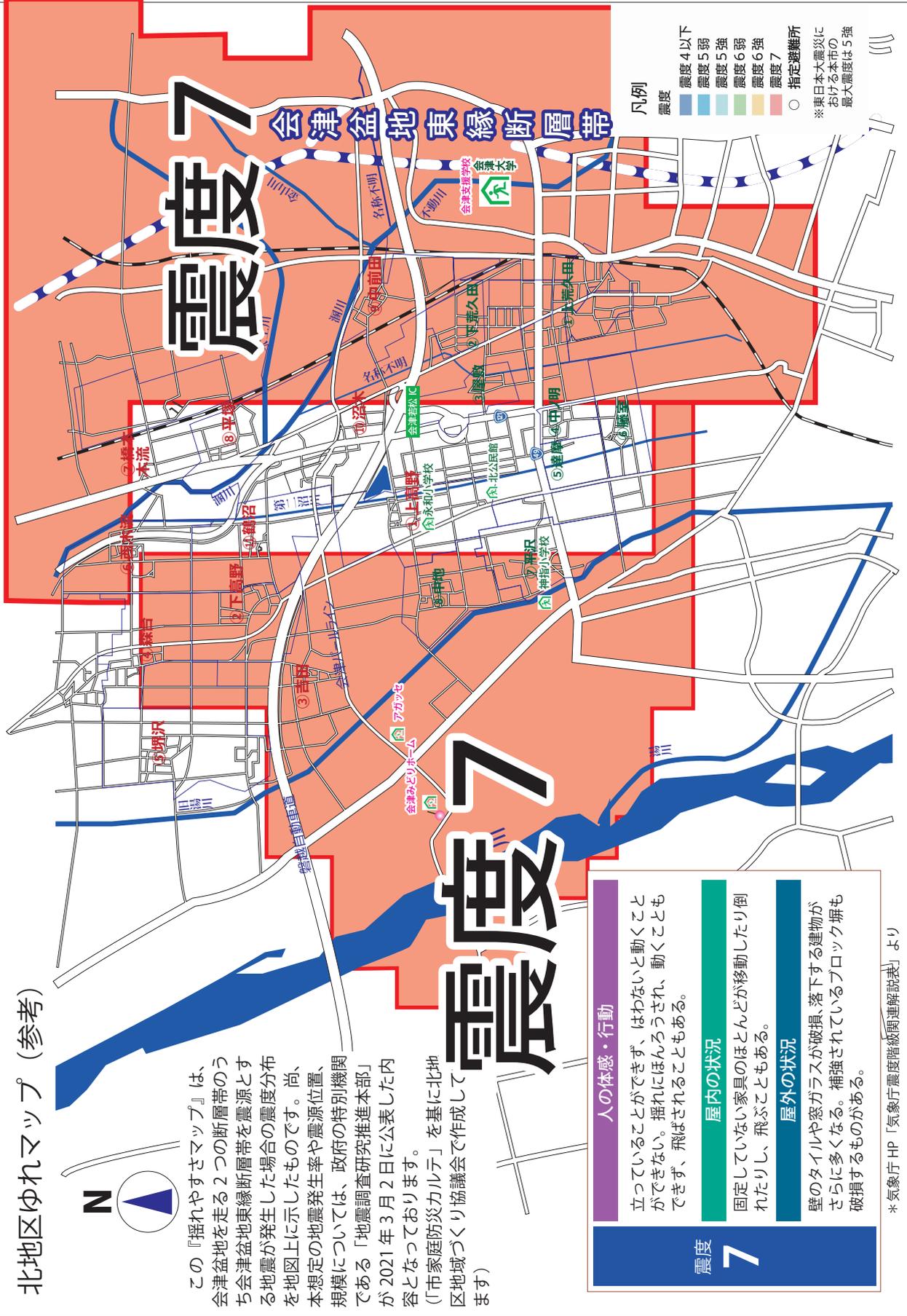
* 部会の枠を超えて取組むもの

- ❖ 【自主財源の確保】⇒継続して自主的な事業運営ができるよう、様々な自主財源の確保に取組みます。
- ❖ 【事務局体制の強化】⇒地域が主体となり、組織運営の事務を円滑に行う体制作りを取組みます。

北地区ゆれマップ (参考)



この『揺れやすさマップ』は、会津盆地を走る2つの断層帯のうち会津盆地東縁断層帯を震源とする地震が発生した場合の震度分布を地図上に示したものです。尚、本想定地震発生率や震源位置、規模については、政府の特別機関である「地震調査研究推進本部」が2021年3月2日に公表した内容となっております。
 (「市家庭防災カルテ」を基に北地区地域づくり協議会で作成しています)



震度7

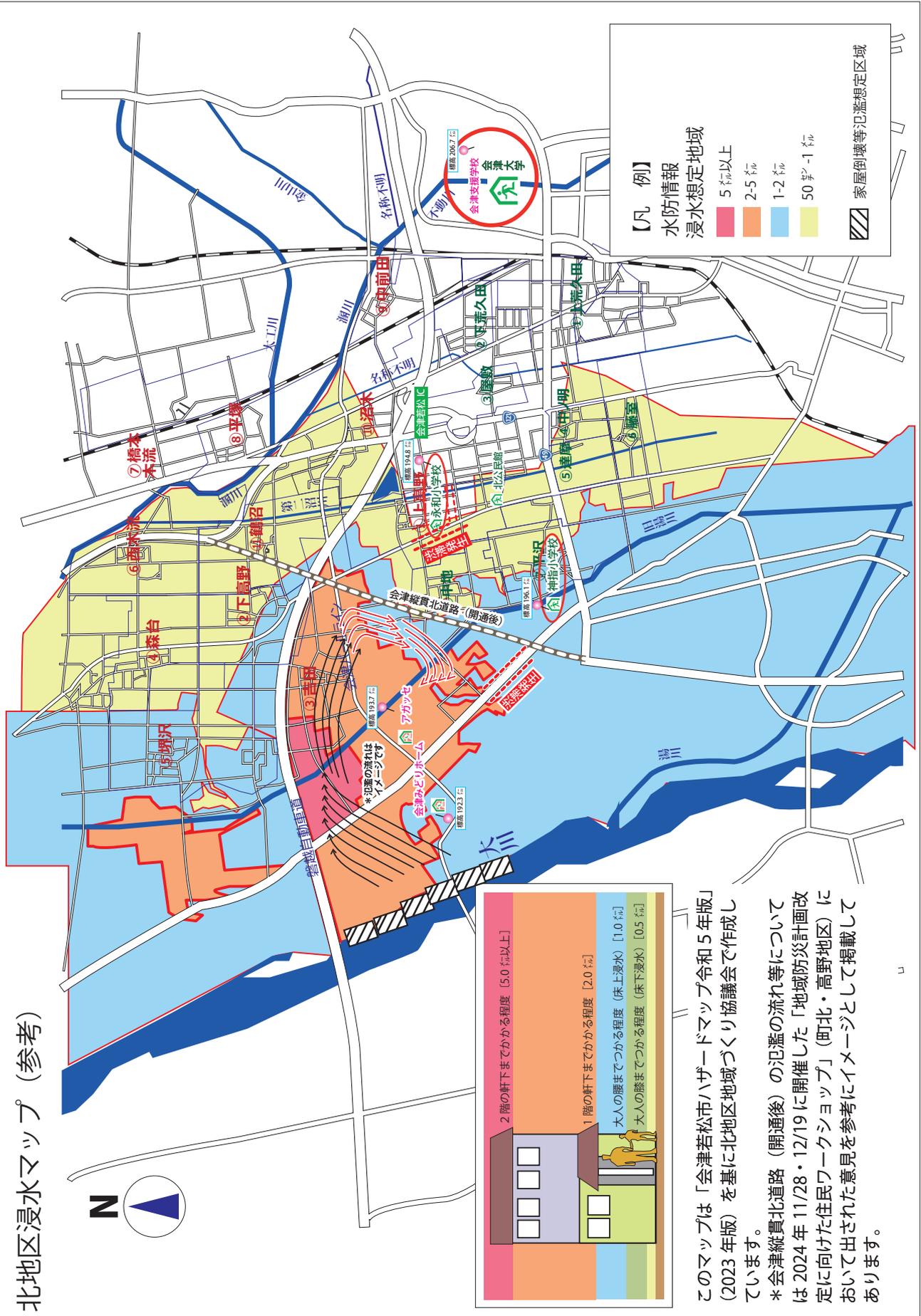
震度7

- 凡例
- 震度 4以下
 - 震度 5弱
 - 震度 5強
 - 震度 6弱
 - 震度 6強
 - 震度 7
 - 指定避難所
- ※東日本大震災における本市の最大震度は5強

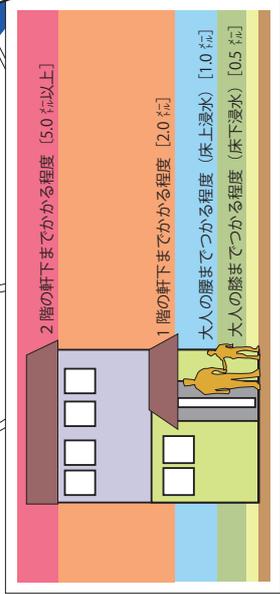
震度 7	人の体感・行動
屋内の状況	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
屋外の状況	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

* 気象庁HP「気象庁震度階級関連解説表」より

北地区浸水マップ (参考)



【凡例】
 水防情報
 浸水想定地域
 5 cm以上
 2-5 cm
 1-2 cm
 50 cm以下
 家屋倒壊等氾濫想定区域



このマップは「会津若松市ハザードマップ令和5年版」(2023年版)を基に北地区地域づくり協議会で作成しています。
 * 会津縦貫北道路 (開通後) の氾濫の流れ等については2024年11/28・12/19に開催した「地域防災計画改定に向けた住民ワークショップ」(町北・高野地区)に於いて出された意見を参考にイメージとして掲載しております。



いな穂のように、実り豊かに暮らせるまちづくり



北地区地域づくり協議会

〒965-0077

会津若松市高野町大字上高野字村前28

(会津若松市北公民館内)

 eiwachiku.c@gmail.com

TEL 0242-25-4044 fax 0242-24-6419